



地球温暖化



多守正
えもり まさ

国立環境研究所温暖化リスク評価研究室長

海洋研究開発機構グループリーダー

東京大学気候システム研究セン

タ客員助教授を兼務。36歳。

る。これが地球温暖化だ。

だが、地球温暖化に関する科

学的認識の詳細は、専門家でな

る。これが地球温暖化だ。

だが、地球温暖化に関する科

学的認識の詳細は、専門家でな

〒100-8055 読売新聞東日本社解説部 kaisetsu@yomiuri.com

正確な科学知識不可欠

いと分かりにくい部分もある。そのせいか、温暖化は信じられないという懷疑論を最近よく目にすることがある。有名なところでは、人気映画「ジュラシック・パーク」の原作者であるマク・バーカーも温暖化懷疑論の小説を書いている。しかし、我々専門家から見ると、懷疑論者たちは、ついでに逃げにくくなり、地表が暖ま

り決めである京都議定書の約束期間が2年後に始まる。ところが、日本の温室効果ガス排出量は、目標が基準年の値から6%の削減であるのに対し、現状では反対に8%の増加である。

温室効果ガスの代表は「酸化炭素(CO₂)」だが、CO₂は大気中に0・04%の割合しかない。しかし、ごく微量でもCO₂などの温室効果ガスが増えると、地表からの赤外線が宇宙へ逃げにくくなり、地表が暖ま

だ。むしろ、我々専門家は、懷疑論を正すとともに、「温暖化についての正確な知識を説いて回る必要があるのだろう。」

懐疑論の中には、「気温上昇の主因はヒートアイランド現象など都市化の影響だ」という意見がある。しかし、最近の研究によれば、都市化の影響が小さい。

しかし、温暖化の進む速さは地域によって異なるし、気温は

地域によって異なるし、気温は

地域によって異なるし、気温は